

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

P27～28に掲載しているKirei Lifestyle Plan 中長期目標について、各指標を構成する数式と因子、対象範囲は以下の通りです。

快適な暮らしを自分らしく送るために

重点取り組みテーマ	指標			目標値	目標年
	数式	因子	範囲		
快適な暮らしを自分らしく送るために					
コミットメント	より清潔で、健康に、安心して年齢を重ね、自分らしく生きられるように、よりこころ豊かな暮らしに貢献した人数			10億人	2030
	2022年開示予定				
QOLの向上	快適で、美しく、すこやかな暮らしに貢献し、こころに響くQOLに貢献する製品数			70億個	2030
	A(個)	・ A:花王が定める基準により、QOL向上に貢献すると認定したブランドの製品の売上個数	・ 花王グループの家庭用製品		
清潔で美しくすこやかな習慣	花王の製品やサービスを使い、清潔で美しくすこやかな習慣を身につけるために実施した啓発活動で到達した累積人数(2016年からの累積値)			1億人	2030
	A(人)	・ A:清潔で美しくすこやかな習慣を身につけるための“Kirei”啓発活動で到達した累積人数 ・ 花王の社員による活動、製品/サービスによる啓発活動の到達数 ・ 各種啓発情報発信活動(ウェブサイト/SNS等含む)の到達数	・ 花王グループ ・ 対象期間:2016年以降		
ユニバーサル プロダクト デザイン	花王ユニバーサルデザインガイドラインに適合する新製品、改良品の比率			100%	2030
	A / B × 100 (%)	・ A:適合基準を満たす製品数(個) ・ B:すべての製品数(個)	・ 花王グループの家庭用製品 ・ 新規製品、改良製品		
より安全でより健康な製品	設定した懸念成分を対象に、花王の考え方を開示した比率			100%	2030
	A / B × 100 (%)	・ A:考え方について公開した懸念物質数(個) ・ B:設定した懸念物質数(個)	・ 花王グループ		

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

思いやりのある選択を社会のために

重点取り組みテーマ	指標			目標値	目標年
	数式	因子	範囲		
思いやりのある選択を社会のために					
コミットメント	より活力と思いやりのある社会の実現のために、小さくても意味のある選択を生活者ができるように提案したブランド比率			100%	2030
	2022年開示予定				
サステナブルなライフスタイルの推進	環境に配慮する生活スタイルを啓発し、サステナブルな世界を実現するための環境啓発活動で到達した累積人数(2016年からの累積値)			1億人	2030
	A(人)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:サステナブルライフスタイルを実現するための環境啓発活動で到達した累積人数 ・ 花王の社員による活動、製品/サービスによる啓発活動の到達数 ・ 各種啓発情報発信活動(ウェブサイト/SNS等含む)の到達数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花王グループ ・ 対象期間:2016年以降 		
パーパスドリブンなブランド	社会的課題に対応し、生活者の暮らしや社会で共感を得られる、存在意義のあるブランドの比率			100%	2030
	2022年開示予定				
暮らしを変えるイノベーション	ライフスタイルに大きく、ポジティブなインパクトを与える製品の提案と実現(2019年からの累積値)			10件以上	2030
	A(件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:暮らし・社会・環境に対して、大きくてポジティブな変化を起こすことができるイノベーションが盛り込まれた製品に関する累積発表数(件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花王グループの家庭用製品、産業向け製品 ・ 対象期間:2019年以降 		
	ライフスタイルに大きく、ポジティブなインパクトを与える事業、しくみの提案と実現(2019年からの累積値)			10件以上	2030
	A(件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:暮らし・社会・環境に対して、大きくてポジティブな変化を起こすことができる事業、しくみに関する累積発表数(件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花王グループの事業やしぐみ ・ 対象期間:2019年以降 		
責任ある原材料調達	家庭用製品に使用した認証紙製品・パルプの比率			100%	2025
	A / B × 100 (%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:花王グループの家庭用製品に使用した認証紙製品・パルプ(FSC、PEFC、SFI)の重量(t) ・ B:花王グループの家庭用製品に使用した紙製品・パルプの重量(t) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花王グループの家庭用製品に使用した紙製品・パルプ ・ 花王グループで使用した事務用紙など 		
	小規模パーム農園までのトレーサビリティ確認			完了	2025
	A(カ所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A:トレーサビリティを確認した小規模パーム農園数(カ所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模パーム農園 		

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

よりすこやかな地球のために

重点取り組みテーマ	指標			目標値	目標年
	数式	因子	範囲		
よりすこやかな地球のために					
コミットメント	全ライフサイクルにおいて、科学的に地球が許容できる範囲内の環境フットプリントである製品比率			100%	2030
	2022年開示予定				
	外部評価機関による評価レベル			最高レベル	毎年
	—	CDPの気候変動、水、森林のそれぞれで、同時にA評価を取得	・花王グループ		
脱炭素	ライフサイクルCO ₂ 排出量(絶対量)削減率(基準年:2017年)			22%	2030
	$(1 - A / B) \times 100 (\%)$	・ A:対象年の年間ライフサイクルCO ₂ 排出量(t-CO ₂) ・ B:基準年の年間ライフサイクルCO ₂ 排出量(t-CO ₂) ※基準年:2017年	・ 花王グループの家庭用製品の全ライフサイクル工程 ・ 花王グループの産業界向け製品の原材料調達、生産、輸送工程		
	スコープ1+2 CO ₂ 排出量(絶対量)削減率(基準年:2017年)			14%	2025
				55%	2030
	$(1 - A / B) \times 100 (\%)$	・ A:対象年の年間スコープ1+2 CO ₂ 排出量(t-CO ₂) ・ B:基準年の年間スコープ1+2 CO ₂ 排出量(t-CO ₂) ※基準年:2017年	・ 花王グループが保有する工場、物流拠点、オフィス、営業車		
	使用電力における再生可能電力の比率			100%	2030
$A / B \times 100 (\%)$	・ A:使用電力における再生可能電力量(kWh) ・ B:使用電力量(kWh)	・ 花王グループが保有する工場、物流拠点、オフィス			
ごみゼロ	革新的なフィルム容器の年間普及量(花王+社外)			3億個	2030
	A + B (個)	・ A:革新的なフィルム容器販売数(花王グループ)(個) ・ B:花王の技術を使用・応用した革新的なフィルム容器販売数(他社)(個)	・ 花王グループおよび他社		
	回収パウチを使用した革新的フィルム容器の実用化			上市	2025
	上市	・ 回収パウチを使用した革新的なフィルム容器の上市	・ 花王グループ		
	PET容器へのPCR(再生プラスチック)使用			2022年 開示予定	2022年 開示予定
	2022年開示予定				
	廃棄物量(全拠点から排出し、リサイクルされないもの)			ゼロ	2030
2022年開示予定					

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

よりすこやかな地球のために

重点取り組みテーマ	指標		目標値	目標年
	数式	因子		
よりすこやかな地球のために				
ごみゼロ	製品廃棄物・販促物廃棄物の削減		2022年 開示予定	2022年 開示予定
	2022年開示予定			
	プラスチックアイキャッチシール廃止率		100%	2021
	$A / B \times 100 (\%)$	・ A:廃止済み個数 ・ B:該当製品個数	・ 花王グループの家庭用製品	
水保全	ライフサイクル水使用量(原単位)削減率(基準年:2017年)		10%	2030
	$[1 - (A_1/A_2) / (B_1/ B_2)] \times 100 (\%)$	・ A ₁ :対象年の年間ライフサイクル水使用量(百万 m ³) ・ A ₂ :対象年の売上金額(億円) ・ B ₁ :基準年の年間ライフサイクル水使用量(百万 m ³) ※基準年:2017年 ・ B ₂ :基準年の売上金額(億円)	・ 花王グループの家庭用製品の全ライフサイクル工程 ・ 花王グループの産業界向け製品の原材料調達、生産、 輸送工程	
	渇水地域におけるライフサイクル水使用量(原単位)削減率(基準年:2017年)		40%	2030
	2022年開示予定			
大気および水質汚染防止	VOC、COD 排出量を開示する工場の比率		100%	2025
	$A / B \times 100 (\%)$	・ A:VOC 排出量・COD 排出量を開示している工場数(カ所) ・ B:全工場数(カ所)	・ 花王グループが保有する工場	

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

正道を歩む

重点取り組みテーマ	指標		目標値	目標年
	数式	因子	範囲	
正道を歩む				
実効性のある コーポレートガバナンス	外部評価機関による評価レベル		最高レベル	毎年
	選定	「World's Most Ethical Companies*(世界で最も倫理的な企業)」(Ethisphere Institute)に選定	・花王グループ	
	重大なコンプライアンス違反件数		ゼロ	毎年
	A (件)	・重大なコンプライアンス違反案件とは、経営に重大な影響を与え、企業価値を大きく毀損する案件をいう ・該当案件については、違反行為の悪質性と社内外への違反の影響などを踏まえて、コンプライアンス委員会および経営会議での審議を踏まえて決定し、取締役会に報告する	・花王グループ	
徹底した透明性	成分情報が簡単に入手できる製品比率(家庭用製品)		100%	2030
	A / B × 100 (%)	・ A: 次の要件を満たすブランド数(件) 設定した成分について、規定量以上の成分名を開示したブランド ・ B: 花王が保有し上市しているすべてのブランド数(件)	・ 花王グループの家庭用製品 ※各年12月末時点のブランド数 ※食品、道具を除く	
人権の尊重	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(社内におけるリスクアセスメント)		100%	2030
	A / B × 100 (%)	・ A: アセスメントを実施した工場(カ所)および花王グループの会社数(社) ・ B: 花王グループ全工場(カ所)および花王グループの全会社数(社)	・ 花王グループが保有する工場および事業所	
	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(サプライヤーにおけるリスクアセスメント)		100%	2030
	A / B × 100 (%)	・ A: 当該年より3年以内にアセスメントを実施したサプライヤー数(社) ・ B: 当該年に取引のあったサプライヤー数(社)	・ 花王グループの直接材のサプライヤー	
	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(委託先におけるリスクアセスメント)		100%	2030
受容性と多様性のある職場	社員エンゲージメント調査における“受容性と多様性に関する設問”における肯定的回答率		75%	2030
	A / B × 100 (%)	・ A: 社員エンゲージメント調査における“受容性と多様性に関する設問”の肯定的回答数(件) ・ B: 社員エンゲージメント調査における“受容性と多様性に関する設問”の回答数(件)	・ 花王グループ社員	
	女性管理職比率		全社員女性比率に同じ	2030
	A / B × 100 (%)	・ A: 女性の管理職人数(人) ・ B: すべての管理職人数(人)	・ 花王グループ社員 ・ 管理職全体	

Kirei Lifestyle Plan 中長期目標 解説 103-1,103-2,103-3

重点取り組みテーマ	指標		目標値	目標年
	数式	因子	範囲	
正道を歩む				
社員の健康増進と安全	休業災害度数率(100万時間当たり)		0.1	2030
	$A / B \times 1,000,000$ (人/百万時間)	・ A:死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失った者)(人) ・ B:年間のべ総実労働時間(時間)	・ 花王グループ社員	
	平均長期休業日数(日/人) ※日本から開始		105	2030
	$(A_1 + A_2 + \dots + A_n) / B$ (日/人)	・ A:次の要件を満たす休業日数(日) ①層で連続30日以上長期休業 ②私傷病休暇、欠勤、退職を対象とし、有給休暇は対象外とする ③対象となる疾病:私傷病 ・ B:休業総人数(人)	・ 日本の花王グループ社員 ※将来は、日本以外を含む花王グループへ展開	
	長期休業者率(千人率) ※日本から開始		0.12	2030
	$A / B \times 1000$ (%)	・ A:次の要件を満たす長期休業者人数(人) ①層で連続30日以上長期休業 ②私傷病休暇、欠勤、退職を対象とし、有給休暇は対象外とする ③対象となる疾病:私傷病 ・ B:社員数総数(人)	・ 日本の花王グループ社員 ※将来は、日本以外を含む花王グループへ展開	
人財開発	社員エンゲージメント調査における“人材育成の仕組み・風土”における肯定的回答率		75%	2030
	$A / B \times 100$ (%)	・ A:社員エンゲージメント調査における“人材育成の仕組み・風土に関する設問”の肯定的回答数(件) ・ B:社員エンゲージメント調査における“人材育成の仕組み・風土に関する設問”の回答数(件)	・ 花王グループ社員	
	社員エンゲージメント調査における“会社/仕事への満足”における肯定的回答率		75%	2030
	$A / B \times 100$ (%)	・ A:社員エンゲージメント調査における“会社/仕事への満足に関する設問”の肯定的回答数(件) ・ B:社員エンゲージメント調査における“会社/仕事への満足に関する設問”の回答数(件)	・ 花王グループ社員	
責任ある化学物質管理	安心して使い続けられる製品・原料の有用性と安全性情報の公開率		100%	2030
	$A / B \times 100$ (%)	・ A:リスク評価・安全性評価書作成・同ウェブサイト公開を行なった化学物質数(個) ・ B:生産量、排出量、社会的関心に基づき2020-2030年に選定する花王優先評価物質数(個)	・ 花王グループが取り扱う物質	
	事業拠点において、原材料調達から廃棄までを考慮し、健康・環境・安全への影響を管理できた比率		100%	2030
	$\frac{(A_1 + A_2 + \dots + A_c)_1 + \dots + (A_1 + A_2 + \dots + A_c)_D}{(B_1 + B_2 + \dots + B_c)_1 + \dots + (B_1 + B_2 + \dots + B_c)_D} \times 100$ (%)	・ A:化学物質に係るリスクアセスメント実施項目数(件) ・ B:化学物質に係るリスクアセスメント対象項目数(件) ・ C:工場数(カ所) ・ D:リスクアセスメント対象項目数(①作業場 GHS表示、②SDSメンテナンス、③アセスメント(定性)、④リスク低減措置)	・ 花王グループが保有する工場	

Kirei Lifestyle Plan
 目次 編集方針 トップメッセージ Kirei Lifestyle Plan 中長期目標解説 独立保証報告書
 快適な暮らしを
 自分らしく送るために
 思いやりのある選択を
 社会のために
 よりすこやかな
 地球のために
 正道を歩む